

会議名：令和８年度 第２回 沼津市自転車活用推進協議会

開催日時：令和８年８月２６日（水）１４時００分～１５時００分まで

開催場所：沼津市民文化センター ２階 第１練習室

公開・非公開の別：公開

傍聴者数：１人

会議次第	1 開会 2 委員紹介 3 会長挨拶 4 議事 (1) 沼津市自転車活用推進計画における令和８年度の実施状況について 【資料１】 (2) 自転車の青切符制度について【資料２】 (3) 国の第３次自転車活用推進計画について【資料３】 5 その他 6 閉会
------	--

<出席者>

	氏 名	所 属	欠席・ 代理出席
1	鈴木 美緒	東海大学 建築都市学部 土木工学科 准教授	
2	村田 佳弘	沼津バス協会 会長 (株)東海バス 沼津営業所長	欠席
3	平岩 直樹	国土交通省中部地方整備局 沼津河川国道事務所 事務事業対策官	
4	杉山 喜一郎	静岡県沼津土木事務所 企画検査課長	代理出席 井出委員代理
5	太田 智也	沼津警察署 交通第１課長	代理出席 松下委員代理
6	土屋 壮	沼津商工会議所 総務部長	
7	鈴木 史子	特定非営利活動法人 沼津観光協会 経理・総務担当	
8	中田 辰美	特定非営利活動法人 カケルバイク	
9	山本 茂雄	沼津市自治会交通安全会連合会 会長	
10	河本 秀昭	沼津市高校生自転車マナー向上委員会 責任者	
11	福原 美奈	公募委員	欠席
12	本間 宏昌	公募委員	
13	椿 美邦	公募委員	

傍 聴：加和太建設 柴崎氏

事務局：まちづくり政策課、建設デザイン政策課、生活安心課、ウィズスポーツ課

(1) 沼津市自転車活用推進計画における令和8年度の実施状況について

【目標2(公共交通連携)】

・公共交通とシェアサイクルの連携

体力面やドライバー不足を見据え、片道利用(行きは自転車、帰りはバス等)やステーション設置の検討を提案された。

・シェアサイクル普及とヘルメット着用の兼ね合い

盗難や衛生面の課題からヘルメットの同時設置が難しい現状や、海外の貸出ロッカー事例、折りたたみヘルメットの活用といった論点が共有された。

・ヘルメットの保管・防犯対策

来年度の義務化を控え着用率が向上する一方、学校や公園等の駐輪時における盗難懸念が示され、学校内のラック設置や市の駐輪場における防犯カメラの強化など、安全な保管対策の必要性が確認された。

(2) 自転車の青切符制度について

(沼津警察署交通第1課から実情について説明)

・2026 年4月に導入された青切符制度は、やみくもに取り締まるものではなく「指導警告(警告表の交付)」が基本である。

・交付の対象は原則として「2 つ以上の違反が重なり悪質・危険な場合」、または単一でも悪質な「ながらスマホ」「遮断踏切立ち入り」「ピスト自転車(ブレーキなし)」などである。

・高齢者や子ども、危険回避のための「歩道走行」の条件等について解説が行われ、関心が高いうちに正しいルールの周知徹底を図る方針を確認した。

(3) 国の第3次自転車活用推進計画について

・駅周辺の受入環境

JR 沼津駅周辺におけるサイクリストの組み立てスペースや、高齢者・外国人に配慮したレンタサイクルの案内(現金対応・紙媒体マップ等)の充実を求める意見が挙げられた。

・イベントと地域経済の連携

千本浜トライアスロン等の大会と宿泊・飲食・観光地(沼津港等)をより効果的に結びつけ、地域活性化につなげる提案がなされた。

・健康・脱炭素・保険

自転車通勤・通学の健康効果や脱炭素への寄与、防犯・駐輪対策の強化、70 歳以上でも加入しやすい高齢者向け自転車保険の環境整備の必要性が指摘された。

・多機関の連携

学校、警察、行政、事業者、地域住民等が連携し、安全対策やマナー向上について横断的に議論・共有できる場の継続が求められた。